



10/20-21 委員会視察に行ってきました。

厚生委員会の視察で三重県四日市市と愛知県大府市で高齢福祉について視察をしました。

●四日市市では「地域包括支援システムの構築」をテーマに、町会組織が中心に立ち上げ民間の社会福祉法人と協力した「地域完結型生活支援サービス ライフサポート三重西」の高齢者の日常生活を住民同士で助け合うしくみや見守りのしくみについて話を伺いました。さらに、地元の社会福祉法人が法人の地域貢献として立ち上げた「まちかどふくし相談室」と、コミュニティカフェの機能を持ついきいきあんしん生活館「ぬくみ」を見学しました。

●大府市では「大府健康長寿サポート事業」をテーマに、認知症の発症の予防や遅延を目指す高齢者全住民を対象とした「健康チェック」や、「スマイル教室」などの各種教室などを行っています。地域全体で認知症予防に取り組む意識づくりを行っていることについて、職員の方の話を聞きました。



政務活動費を使った視察で、群馬県みなかみ町の「里まち連携」や、カーボンオフセット(都市部が、里山に植樹するなどして、二酸化炭素の排出量を相殺する試み)「中野の森プロジェクト」について視察をしました。「中野区の伝統工芸の職人の方との交流も始まったたくみの里にて、みなかみ町で古い街並みを復活させ、伝統工芸の職人の方を集めて、訪れる人に伝統工芸品の製作過程を見てもらったり、実際に体験してもらったり取り組み」や、「廃校を使って団体での来街者に活動場所や宿泊場所を提供する施設」、「カーボンオフセットのために中野区がみなかみ町で植樹を始めた『中野の森』」などを視察しました。

決算委員会厚生分科会(27.9.28~30)

- ・「地域支えあいネットワーク」の高齢者や障がい児・者の見守りについて、町会での見守りに加えて、旧来の「元気でネット」の協力員(ボランティア)や、協力機関(登録事業者)も活用し、協力者を増やす形で、より多くの目で見守る体制をつくるべきではないかと質問しました。
- ・介護予防啓発事業等について、女性と比べて男性の参加が少ないことを指摘。かつて高齢者福祉センターがあったところは男性向けの教室を設けるとそれなりの男性の参加があったことを踏まえて、今後の介護予防の教室や講座についても男性が参加しやすいような内容や、名称設定などの工夫ができるのではないかと質問・提案をしました。
- ・26年度までは北部と中部のすこやか福祉センターにしか設置されていなかった障害者相談支援事業所について、これまで業務量が非常に多かったことを踏まえて、27年度から鷲宮すこやか福祉センターで、そして今後南部すこやか福祉センターでも障害者相談支援事業が始まることについて指摘。窓口の数が増えても、各すこやか福祉センターの窓口のマンパワーを縮小させることがないよう要望しました。

メディアに掲載されました!

「季刊アドボカシー」No.2(2015年10月8日発行)の「特集:動き出すセクシュアルマイノリティの人権政策-多様性を認め合い、誰もが生きやすい社会へ」にて石坂わたるの発言が掲載されました。

お話をうかがいます

中野区議会内では、無所属議員控室に在室しています。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、おうかがいします。



不安と孤立を見捨てない 石坂わたるの たつのこ通信

中野区議会議員・無所属

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758
【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8874(無所属控室)

2015・秋号

http://ishizakawataru.net/
@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

26年度一年間で見ると財政状況は改善していますが、長期的にはまだまだ楽観はできない状況です。限られた財源の中でも知恵を絞って一人一人の福祉と、多様性が保障された社会づくりを進めます。

- 決算についての総括質疑で**
- ▶ 医療的ケアが必要な障がい児の保育
 - ▶ 東日本大震災の被災者支援
 - ▶ 映画を活用した文化や情報の発信
- ※厚生分科会での質疑は4面に掲載しています。
- について質問をしました。(詳細は内面を参照ください)

26年度に中野区では……

- ▶ 認可保育所の新設を含めた保育所の保育定員増対策が行われました。
- ▶ 新たに立ち上がった障害児通所支援施設「たんぽぽ」と「みずいろ」にて「放課後等デイサービス」などが始まり、障がいのあるお子さんの居場所が増えました。
- ▶ 平成25年に区役所庁舎での支援のワンストップ化(さまざまな部署の施策をひとつの窓口で相談できるような仕組み)が進んだDVに関する相談も前年度と比べて利用者数が上昇しました。
- ▶ 新規事業の就労意欲喚起等事業を利用した方の41.2%の方が就労をすることができました。

今後の課題は……

- ▶ 26年度も新たな民間の力を活かす事業が増えました。サービスの向上につながる面もある一方で、行政から民間への引継ぎがスムーズにいかずに区民が困惑することや、受託事業者が限られた委託料で受託する仕事が増えすぎてしまうことも。区と民間との役割分担の整理や、区職員がしっかりと責任をもって民間との連携や業務のチェックをすること、区職員と民間職員とが必要に応じて垣根なく共に汗を流して区民のために働くことが必要です。
- ▶ そして特定の部署に限らず、職員の超過勤務手当が多い部署がかなりあり、中には常勤1名分のコストを上回る超過勤務手当がかかっている部署もあります。こうした部署については仕事の内容、仕事のやりかた、分野内のあるいは分野間の分担についての検討や、場合によっては人員配置の見直しや人員増などの検討も必要です。



石坂わたる
1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校教員などを経験し、平成23年中野区議会議員選挙にて初当選(現在二期目)。精神保健福祉士、行政書士。

26年度決算が認定されました。

メールニュース配信!

議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。
09wishizaka@mbr.nifty.com

たつのこ通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。

通信を郵送します!

ボランティア募集!

中野区内でのたつのこ通信の配布、郵送準備などをお手伝いください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません(50程度から可能)。

TEL&FAX(事務所) 03-6304-8758
TEL(無所属控室) 03-3228-8874
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

視覚障がい者の方など必要な方には音声版のたつのこ通信(テープ/DAISY CD)をご用意できます。

